

登録コード	HM190100	開講年度	2026				
授業題目	形態学研究方法特論					担当教員	福島 菜奈恵 他
英文授業名	Advanced Methods in Morphological Research					副担当	城倉 浩平・寺田 信生・川久保 雅友・YUE FENGMIN
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能 ⇄					形態学研究の進め方や基本的知識を修得し、自らの研究の参考にするとともに、医学研究への意欲を高める。	
(2)詳細/Detailed information	形態学研究を行う際に必要となる様々な基礎的研究手法を学ぶとともに、これらの解析技術を用いて行った応用研究についての理解を深める。						
(3)授業の概要/Overview of course	形態学研究における基礎的な研究手法について講義する。次いで、これらの解析法を用いて行った研究例の実際について紹介する。						
(4)授業計画/Course plan	4月30日（木）18:00～ 光顕レベルの解析法（福島菜奈恵） 5月 7日（木）18:00～ 神経回路の解析法（福島菜奈恵） 5月11日（月）18:00～ 電顕レベルの解析法（城倉浩平） 5月14日（木）18:00～ 組織切片の画像解析法（川久保雅友） 5月18日（月）18:00～ 膜骨格と細胞骨格の解析法（寺田信生） 5月21日（木）18:00～ 形態学研究の新たな展開Ⅰ-腎臓と骨を中心に-（岳鳳鳴） 5月25日（月）18:00～ 形態学研究の新たな展開Ⅱ-神経系を中心に-（福島菜奈恵） 5月28日（木）18:00～ 形態学研究の新たな展開Ⅲ-感染症を中心に-（川久保雅友）						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績評価の方法 5月28日の授業終了後（7時限目）に試験を行う。 試験は100点満点で評価し、60点以上を合格とする。 問題は各授業の講義内容から担当教員が出題する。 成績評価の基準 60-69点は「水準にある（可）」、70-79点は「やや上にある（良）」、80-89点は「かなり上にある（優）」、90点以上は「卓越している（秀）」とする。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	毎回の授業内容について復習すること。最終日に試験を行う。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	各担当教員に問い合わせてください。						
(8)授業の形式/Course format	オムニバス形式での講義を行う。必要に応じて資料を配布する。 Zoomによるオンラインで実施するので、接続情報等をeALPSで確認すること。						